



## 小1の息子 家族に乱暴な言葉遣い

小学1年の息子が小学校入学後、言葉遣いが悪くなりました。家族に「ばか」「うるせー」などと言います。叱っても効果がなく、思い通りにならないと暴れたり大声で叫んだりします。小学4年の兄にかかっていくこともあります。

学校で乱暴な言葉遣いはないものの、ぼーっとすることが多く、先生が一つ一つ声掛けしているそうです。登校後ランドセルを背負ったままで、周りが声を掛けたり、ずっと何もしないことがあったりして、心配しているとのこと。学校に行きたがらず、途中まで送ったこともありました。

どうしたらいいか、アドバイスをお願いします。

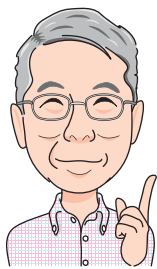
## 先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



名取市  
30代・パート  
からの質問

### ●回答してくれた人 本間 博彰さん



ほんま・ひろあき 静岡市出身。医学博士。宮城県子ども総合センター所長などを歴任。東日本大震災後は被災地の子どもへのケアにも従事。2018年から星総合病院(郡山市)精神科部長。

男の子は年齢とともに攻撃性が高まり、その影響で言葉遣いが荒くなることがあります。攻撃性は活動性と同じ意味合いで、やがて積極性やチャレンジする力となっていきます。

乱暴な言葉遣いで自分が強くなったかのような態度や振る舞いを見せるのは、幼児や児童にはよくあります。他の子とぶつかりうまくやれないときに強がった言い方をすることで、ぐらついた自分、不安になった自分を支えて踏ん張ろうとします。乱暴な言葉遣いをする子どもの心の中に、不安や何らかの不満、怒りの気持ちが潜んでいるかもしれないと、考えておくことが必要だと思います。

子どもの発達に大切な攻撃性

## 心の活力低下の可能性

ですが、思い通りにならないと暴れたり大声で叫んだりというのは、少し度が過ぎているようです。学校での様子がぼーとしていたり、次の動作にスムーズに移れないといった態度・行動は、何らかの思いや考えに心が奪われ、ぼっかり穴が空いているように感じられます。

学校に行けないこともあるようなので、学校生活に行き詰まりを感じている可能性もあります。集団生活や学業に取り組むにはある程度の心のエネルギーが必要なので、エネルギーが欠けた心の内を表しているのかもしれない。

このような場合には、一度子どもの心の専門機関に相談してみることをお勧めします。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社 子ども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



震災15年の2026年3月 あなたの思いを込めた手紙が届きます

### 募集中



# 「備えの手紙 - 震災15年の私へ 家族へ」



新聞販売店が  
2026年3月に  
届けるよ

河北新報社は「東日本大震災10年」の取り組みとして、震災の教訓を将来の防災・減災につなげるメッセージのタイムカプセル「備えの手紙 震災15年の私へ 家族へ」を募集しています。

震災の記憶や備えの気持ちを手紙にして、5年後の自分、お子さん、お孫さんへ送ってみませんか。

河北オンラインニュースのトップページのバナーから、オリジナルの便せん、封筒がダウンロードできます！

#### 応募方法

- 手紙は封書で受け付けます(ハガキは不可)
- 封筒の裏面に郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記してください
- お子さん、お孫さんなど宛先が送り主と異なる場合は別途、郵便番号、住所、氏名を書いてください
- 送り先は〒980-8660 河北新報社販売部「備えの手紙」係
- 締め切りは2022年1月31日

